

地下水を主題とする小さな旅
大阪府三島郡島本町

離宮の水を訪ねて・・・

【2005年10月23日(日)現地見学会報告】
特定非営利活動法人 地盤・地下水NET

阪急水無瀬駅前に集合し、鶴巻先生より山崎
界隈の地下水事情、島本町浄水場に関する概略
説明などを受けて、事前知識をインプットして
から出発しました。

小雨模様の中、島本町浄水場へ向かい、浄水
場では池下浄水場長より丁寧な、ご説明を頂き
ました。

島本町では9本の井戸を掘り水源としていま
すが、将来を考えて府営水道からも約10%の水
供給を受けています。現在、地下水による水供
給が8,500 t/d、府営水が1,000 t/d、

原水コストは、それぞれ173円/t、87円/t、です。府下で5番目に高い水道料金な
のですが、住民の方々は、高くても地下水の供給を望んでおられるとのことでした。現在の
施設で人口35,000人まで対応可能とのことでした。

地下水は年間を通じて16～18の水温を維持していて、これは最もおいしく感じる温
度であることなどをお話し頂いた後、具体的な水処理過程についての説明を受けました。

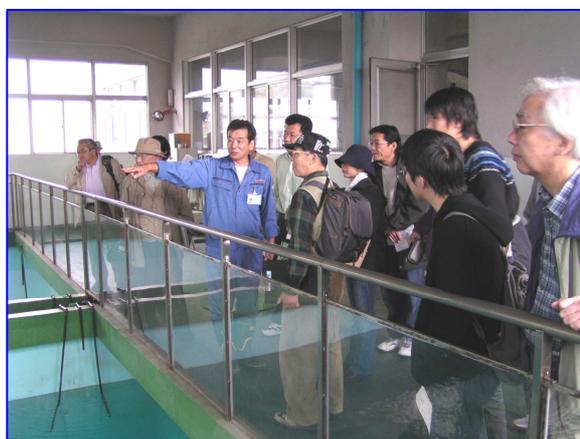
当初最新技術を誇っていた水処理における管理制御盤も今では老朽化していて、他の浄
水場で電子化が進むなか、当浄水場ではまだ記録紙方式に頼っています。施設の改築を迫
られているのですが、財源の関係から思うように行かない苦労話なども同時にお聞きし
ました。 場内施設見学が始まった頃には、雨もすっかり上がり青空が広がっていて、隣
接する芦刈コーナーでは地元の人たちが、ポリタンクを持参しておいしい水を汲みにきて
いました。



阪急水無瀬駅にて鶴巻先生による講義



島本町浄水場 池下場長より説明





昼食は水無瀬神宮で各自持参したお弁当を、それぞれおいしく頂きました。この日は丁度水無瀬神宮のお祭りと重なり、神社は沢山の人で賑わっていました。

この神社には、名水として有名な離宮の水が湧いており、訪れた人々は、この水で手を清めたり、飲んで味わったりして楽しんでいました。



昼食後は神社の境内を使用させてもらって、地下水や水道水、ミネラル水、などの成分分析を簡易水質検査(パックテスト)で行いました。分析項目は以下に示す、鉄分、硬度、PH、などです。

	伝導度 (ms・cm)	硬度	Fe	pH
離宮の名水	220	100	<0.2	6.7-7.0
大阪市水道水(都島区)	220	<100	<0.2	7.0-7.5
エビアン	601	>200	<0.2	7.0-7.5
堺市水道水	230	<100	<0.2	7.0-7.5



午後は、水無瀬川沿いに河川水が伏流する場所を見学しながら、東大寺公園に到着、鶴巻先生より、六角形で表現する水成分の顔の話、当地の地形地質と地下水の関係、広葉樹が減り竹林が増えたため地下水が涵養が減る。などの講義を受けました。

そして最後はサントリー山崎蒸留所にて工場見学とウイスキーの試飲を行いました。たくさんの工程と手間、年月をかけて製造されるウイスキーの底深さを見て、改めてその価値を感じる次第でした。

サントリー工場見学会のあと、当地にて解散しました。

